

レクチャーコンサート 星空に響く音楽 —ガリレオ・ガリレイが聴いたリュート音楽—

日時 2019年 9月 23日 (月・祝)

[開演] 14:00~15:30 [開場] 13:30

講師 永田斉子 (リュート奏者)

会場 千葉市科学館 7階企画展示室

申込 7月1日(月)より受付(9:00~19:00)

TEL:043-308-0511 (代表)

※申し込み後のキャンセルは必ずご連絡ください。
※当日はメンバーズカードをお持ちください。

対象 千葉市科学館 メンバー会
個人会員、家族会員、常設展示フリーパス会員

※未就学児の同伴はご遠慮ください。

無料
先着200名
全席自由席

この機会にぜひご家族で
千葉市科学館メンバー会に
ご入会下さい!!



ガリレイ家とリュート

ガリレイ家は代々リュート奏者の家系でした。ガリレオ・ガリレイの父、ヴィンチェンツォ・ガリレイ (c.1520-1591) は、フィレンツェで活躍したリュート奏者にして音楽理論家であり、人文主義的グループ「カメラータ」のメンバーとして新しいバロック音楽様式を生み出します。ヴィンチェンツォの音楽理論書は、主に音律に関するもので、今で言う数学に近いものでした。そもそも古代ギリシャの頃から「音楽は宇宙の秩序を表すもの」と考えられ、いわゆる自由七科において、音楽は算術・幾何・天文学と並んで数学的四科に含まれていたのです。ヴィンチェンツォは、弦の振動や音程について数学的に論じつつ、さらにリュート奏者として弦を扱う経験から得られた考察を加えました。長男・ガリレオは、このような父の姿勢に大きな影響を受け、純粋数学から実験重視へと方向転換することになったと考えられています。

そのガリレオもまた「科学者であり、また優れた鍵盤楽器とリュートの奏者であった。彼の演奏は、その父をしのぐほど美しく優雅で、最期まで決して失うことのなかった上品さをそなえていた」(ガリレオの弟子で、伝記を最初に著したヴィヴィアーニによる記述)と伝えられるほどの腕前を持ち、生涯にわたってリュートへの関心を持ち続けていました。ガリレオの娘と息子もまたリュートを嗜みましたが、それを教えたのはガリレオでしょう。

音楽理論家・ヴィンチェンツォの後を継いだのがガリレオであったならば、職業的リュート奏者として父の後を継いだのは、ガリレオの末弟ミケラニョロ(ミケランジョロ)でした。ミケラニョロは、ミュンヘン・バイエルン公の宮廷リュート奏者となり、その地位を継いだ長男アルベルトを含む3人の息子もまたリュート奏者となりました。このようにリュートという楽器はガリレイ家と深く関わっており、少なくとも三代にわたって演奏され続けてきた最も身近な存在だったのです。

リュートについて

リュートは、ヨーロッパの王侯貴族の庇護のもと、12世紀~18世紀という長い期間にわたり演奏されていた撥弦楽器で、特に16世紀は“楽器の王”として宮廷で重要な役割を果たしていました。16世紀末~17世紀初めのガリレオの時代は、ルネサンス様式から次なるバロック様式へのちょうど転換期にあたります。今回は典型的なルネサンス・リュートと、17世紀になって登場した棹の長いアーチリュートを用いて、ガリレイ家にゆかりのある作品を演奏します。

永田斉子 [ながたせいこ] リュート奏者



長崎県生まれ、東京都在住。国際基督教大学卒業、フランス国立ストラスブール音楽院古楽科にてディプロムを取得。ルネサンス~バロック時代の各種リュート、ギターを用いてソロやアンサンブルで演奏活動を行っている。リュートを中心としたサロンコンサートを企画・運営するルミエールプロジェクトを主宰。CD「Song Collectors 歌の蒐集家たち」「月琴 MOON LUTE」「ふらんすの恋歌」、映画「耳をすませば」「カムイ外伝」などを録音。美術、文学、歴史など異分野とのコラボ企画を得意とする。朗読音楽会「ロバのおうじ」「月琴で綴る龍馬の手紙」を連続公演中。月琴奏者でもある。公式サイト seikonagata.com

プログラム

Vincenzo Galilei

ヴィンチェンツォ・ガリレイ (c.1520-1591)

- ・ Passemezzo sesto
パッセメツ
- ・ Calliope Gagliarda
ガリアルダ “カリオペー”
- ・ Polymnia
ガリアルダ “ポリュムニア”
- ・ Contrapunto
2声のための対位法的作品

Michelangelo Galilei

ミケラニョロ・ガリレイ (1575-1631)

- ・ Toccata
トッカータ
- ・ Volta
ヴォルタ
- ・ Corrente
コレンテ

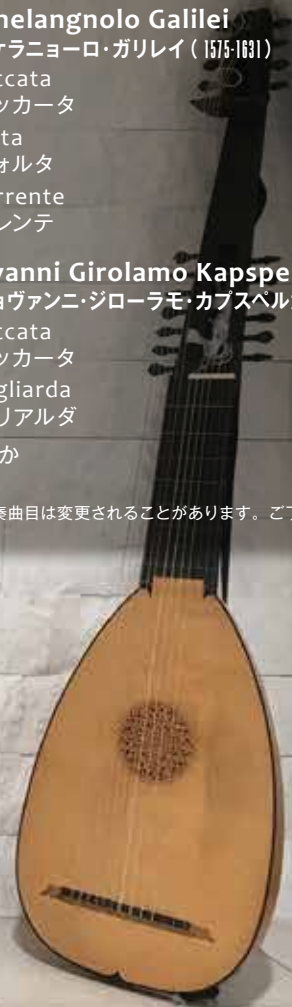
Giovanni Girolamo Kapsperger

ジョヴァンニ・ジローラモ・カプスベルガー (1580-1651)

- ・ Toccata
トッカータ
- ・ Gagliarda
ガリアルダ

※ほか

※演奏曲目は変更されることがあります。ご了承下さい。



【ご案内】

- ・ 永田斉子CD販売サイン会 15:30 ~ 15:50 (7階企画展示室)
- ・ 一般投影番組「星空散歩」 16:00 ~ 16:45 (7階プラネタリウム)

千葉市科学館

- 所在地: 〒260-0013 千葉市中央区中央4丁目5番1号
Qiball (きぼーる) 内
- 開館時間: 9:00~19:00
- 休館日: 年末年始・機器点検日
- 電話: 043-308-0511 (代表)
- FAX: 043-308-0520
- URL: www.kagakukanQ.com/

交通アクセス

- 電車
京成千葉線「千葉中央駅」より徒歩6分
JR総武線「千葉駅」より徒歩15分
- モノレール
「靉川公園駅」下車徒歩5分
- バス
千葉駅東口7番乗り場より
「中央三丁目」下車徒歩1分

